

令和6年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年2月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <https://www.uni-green.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安部 豪
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 野呂 千佳子

TEL 072-649-2266

四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年6月期第2四半期の連結業績(令和5年7月1日～令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年6月期第2四半期	7,162	11.5	734	21.4	752	20.3	403	34.9
5年6月期第2四半期	6,421	18.7	933	11.9	943	8.7	619	6.7

(注) 包括利益 6年6月期第2四半期 519百万円 (30.1%) 5年6月期第2四半期 743百万円 (25.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年6月期第2四半期	85.72	
5年6月期第2四半期	130.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年6月期第2四半期	15,036	10,976	72.9
5年6月期	13,044	10,568	80.9

(参考) 自己資本 6年6月期第2四半期 10,963百万円 5年6月期 10,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年6月期		0.00		24.00	24.00
6年6月期		0.00			
6年6月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年6月期の連結業績予想(令和5年7月1日～令和6年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,337	25.5	2,270	7.4	2,307	5.7	1,513	1.3	321.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社大多喜ハーブガーデン、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

6年6月期2Q	5,025,000 株	5年6月期	5,025,000 株
6年6月期2Q	320,704 株	5年6月期	320,704 株
6年6月期2Q	4,704,296 株	5年6月期2Q	4,754,362 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予測に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きがみられましたが、緊迫した国際情勢、資源価格の上昇、急激な円安の進行により、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは売上は計画通り推移しているものの、M&Aにかかる取得関連費用の増加、第1四半期より引き続き今後の事業に向けての人材の確保や賃金の上昇に伴い増加した人件費を補うまでに至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,162,031千円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益は734,353千円（同△21.4%）、経常利益は752,103千円（同△20.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は403,232千円（同△34.9%）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

[グリーン事業]

グリーン事業につきましては、レンタルグリーンの新規契約獲得が計画通り推移したものの、人件費の増加により増収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,272,981千円（前年同四半期比15.7%増）、営業利益は811,204千円（同△3.2%）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは21.1%（前年同四半期22.9%）、関西エリアは23.3%（同26.4%）、海外エリアは△4.8%（同△0.1%）となりました。

[卸売事業]

卸売事業につきましては、新規顧客の獲得に注力し、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は687,173千円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は53,021千円（同1.3%増）となりました。

[小売事業]

小売事業につきましては、クリスマスや正月に伴い売上は増加したものの、M&Aにかかる取得関連費用の増加に伴い増収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,406,634千円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は△156,074千円（前年同四半期は22,343千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,036,475千円となり、前連結会計年度末に比べて1,991,730千円の増加(15.3%増)となりました。

このうち流動資産は7,046,761千円となり、前連結会計年度末に比べて495,100千円の減少(6.6%減)となりました。これは主に現金及び預金が1,329,991千円減少し、受取手形及び売掛金が665,304千円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は7,989,713千円となり、前連結会計年度末に比べて2,486,831千円の増加

(45.2%増)となりました。これは主にのれんが1,689,756千円増加し、投資有価証券が200,149千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,059,818千円となり、前連結会計年度末に比べて1,583,631千円の増加(64.0%増)となりました。これは主に短期借入金が329,664千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が257,250千円増加し、長期借入金が550,719千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,976,657千円となり、前連結会計年度末に比べて408,099千円の増加(3.9%増)となりました。これは主に、利益剰余金が290,329千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、令和6年2月14日に連結業績予想を変更いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,275,962	3,945,970
受取手形及び売掛金	1,548,614	2,213,919
商品及び製品	570,833	683,148
原材料及び貯蔵品	4,262	13,088
その他	183,124	241,598
貸倒引当金	△40,934	△50,962
流動資産合計	7,541,862	7,046,761
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,147,531	1,202,373
その他	3,531,721	4,225,344
減価償却累計額	△2,036,460	△2,390,834
その他(純額)	1,495,261	1,834,510
有形固定資産合計	2,642,792	3,036,883
無形固定資産		
のれん	381,379	2,071,136
その他	103,851	142,598
無形固定資産合計	485,230	2,213,734
投資その他の資産		
投資有価証券	1,101,158	1,301,308
繰延税金資産	404,218	536,015
投資不動産	521,994	521,994
減価償却累計額	△155,651	△159,718
投資不動産(純額)	366,342	362,276
その他	504,044	540,402
貸倒引当金	△906	△906
投資その他の資産合計	2,374,858	2,739,095
固定資産合計	5,502,881	7,989,713
資産合計	13,044,744	15,036,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	476,749	574,603
短期借入金	—	329,664
1年内返済予定の長期借入金	—	257,250
1年内償還予定の社債	—	14,000
未払法人税等	324,332	349,321
賞与引当金	—	6,509
リース債務	119,729	133,784
その他	747,870	829,287
流動負債合計	1,668,682	2,494,420
固定負債		
退職給付に係る負債	262,074	300,337
長期借入金	—	550,719
社債	—	16,000
長期未払金	208,822	208,110
リース債務	218,454	322,866
繰延税金負債	—	3,517
その他	118,152	163,846
固定負債合計	807,504	1,565,397
負債合計	2,476,186	4,059,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	10,687,431	10,977,761
自己株式	△428,177	△428,177
株主資本合計	10,554,513	10,844,842
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,741	118,704
その他の包括利益累計額合計	2,741	118,704
非支配株主持分	11,302	13,110
純資産合計	10,568,557	10,976,657
負債純資産合計	13,044,744	15,036,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年7月1日 至 令和4年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	6,421,899	7,162,031
売上原価	2,579,269	2,861,379
売上総利益	3,842,630	4,300,652
販売費及び一般管理費	2,908,903	3,566,299
営業利益	933,726	734,353
営業外収益		
受取利息	3,179	8,463
投資不動産賃貸料	17,383	18,220
その他	9,902	13,620
営業外収益合計	30,466	40,304
営業外費用		
支払利息	1,663	3,379
不動産賃貸原価	7,529	7,135
為替差損	7,574	8,355
その他	4,042	3,683
営業外費用合計	20,809	22,553
経常利益	943,383	752,103
特別損失		
固定資産売却損	8,769	—
特別損失合計	8,769	—
税金等調整前四半期純利益	934,614	752,103
法人税等	309,126	348,095
四半期純利益	625,488	404,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,205	775
親会社株主に帰属する四半期純利益	619,283	403,232

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年7月1日 至 令和4年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	625,488	404,007
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	118,125	115,962
その他の包括利益合計	118,125	115,962
四半期包括利益	743,613	519,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	737,815	518,163
非支配株主に係る四半期包括利益	5,798	1,807

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年7月1日 至 令和4年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和5年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	934,614	752,103
減価償却費	122,186	143,657
のれん償却額	42,361	66,918
固定資産除売却損益 (△は益)	8,769	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,059	6,850
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,702	6,705
受取利息及び受取配当金	△3,179	△8,463
支払利息	1,663	3,379
為替差損益 (△は益)	8,779	7,079
売上債権の増減額 (△は増加)	△361,348	△264,781
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△84,055	△21,294
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,444	14,962
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,242	△49,689
その他	△46,445	△36,227
小計	625,188	621,200
利息及び配当金の受取額	2,815	7,080
利息の支払額	△1,663	△3,379
法人税等の支払額	△355,322	△340,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,018	284,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△300,000	△200,000
投資有価証券の償還による収入	100,115	—
有形固定資産の取得による支出	△126,636	△176,303
無形固定資産の取得による支出	△8,828	△46,362
投資不動産の賃貸に係る支出	△4,376	△4,092
投資不動産の賃貸による収入	17,545	17,755
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△30,697	△685,645
事業譲受による支出	△90,995	△451,772
その他	15,819	10,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428,054	△1,535,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,487	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△3,501
リース債務の返済による支出	△16,527	△12,262
配当金の支払額	△104,445	△108,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,459	△124,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,738	35,427
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△249,757	△1,340,383
現金及び現金同等物の期首残高	4,753,781	5,060,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,504,024	3,719,651

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和4年7月1日 至 令和4年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	907,962	552,010	473,711	1,933,684	—	—	1,933,684	—	1,933,684
グリーンサービス	1,388,972	621,212	599,476	2,609,662	—	—	2,609,662	—	2,609,662
卸売	—	—	—	—	509,545	—	509,545	—	509,545
小売	—	—	—	—	—	1,369,008	1,369,008	—	1,369,008
顧客との契約から生 じる収益	2,296,935	1,173,222	1,073,188	4,543,346	509,545	1,369,008	6,421,899	—	6,421,899
外部顧客への売上高	2,296,935	1,173,222	1,073,188	4,543,346	509,545	1,369,008	6,421,899	—	6,421,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,356	1,404	—	15,760	172,076	250	188,087	△188,087	—
計	2,311,292	1,174,626	1,073,188	4,559,107	681,621	1,369,258	6,609,987	△188,087	6,421,899
セグメント利益 (△は損失)	528,243	310,303	△740	837,806	52,338	22,343	912,487	21,238	933,726

(注) 1 セグメント利益の調整額21,238千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

小売事業において、株式会社改良園が植木、花卉、及び種苗の通信販売事業を譲り受けたことに伴い、のれんが72,153千円増加しております。なお、当該のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 令和5年7月1日 至 令和5年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	1,022,839	583,790	554,733	2,161,363	—	—	2,161,363	—	2,161,363
グリーンサービス	1,729,479	655,499	718,182	3,103,160	—	—	3,103,160	—	3,103,160
卸売	—	—	—	—	493,355	—	493,355	—	493,355
小売	—	—	—	—	—	1,404,151	1,404,151	—	1,404,151
顧客との契約から生 じる収益	2,752,318	1,239,289	1,272,915	5,264,523	493,355	1,404,151	7,162,031	—	7,162,031
外部顧客への売上高	2,752,318	1,239,289	1,272,915	5,264,523	493,355	1,404,151	7,162,031	—	7,162,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,497	2,959	—	8,457	193,817	2,482	204,758	△204,758	—
計	2,757,816	1,242,249	1,272,915	5,272,981	687,173	1,406,634	7,366,789	△204,758	7,162,031
セグメント利益 (△は損失)	583,040	289,695	△61,531	811,204	53,021	△156,074	708,150	26,202	734,353

(注) 1 セグメント利益の調整額26,202千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

小売事業において、Nicolai Bergmann株式会社の発行済株式のすべてを取得して子会社化したことに伴い、のれんが1,264,358千円増加しております。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。